

平成 30 年度厚木市子ども・子育て支援事業ニーズ調査実施要領（案）

1 調査目的

本調査は、「子ども・子育て支援法」に基づく、市町村子ども・子育て支援事業計画（計画期間5年）として、「第2期厚木市子ども・子育て支援事業計画」を策定するためのニーズの現状把握に資する調査、分析を行うことを目的とし、調査結果は、本計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」の算出等に活用する。

なお、この調査に係る調査票は、国から示されるニーズ把握のための調査票と同様の内容部分で構成する。

2 調査の方法

調査の方法は次のとおりとする。

（1）抽出手法

層化抽出法を採用

（2）対象者

合計 6,000 人

ア 未就学児保護者 4,000 人（平成 30 年 4 月 1 日現在 10,309 人）

イ 小学生保護者 2,000 人（平成 30 年 4 月 1 日現在 11,826 人）

※外国人住民含む

（3）対象区分

0 歳、1～2 歳、3 歳～就学前、小学 1 年～3 年生、小学 4 年～6 年生の児童区分の 5 区分で対象者を抽出する。

（4）調査区域

市内を 15 地区に分けて調査を実施する。

（厚木北・厚木南・依知北・依知南・睦合北・睦合南・睦合西・荻野・小鮎・玉川・南毛利・相川・緑ヶ丘・愛甲・森の里）

（5）調査期間

平成 30 年 12 月（予定）

（6）調査方法、回収方法及び分析

委託業者が郵送により送付回収し、委託業者が分析を行う。

（7）回収率

回収率は、40%を見込む。（前回：未就学児 44.4%、小学生 47.4%）

3 調査項目

主となる調査項目は次のとおりとする。

（1）子どもの育ちをめぐる環境について

（2）保護者の就労状況について

（3）教育・保育事業の利用状況について（未就学児のみ）

（4）地域の子育て支援事業の利用状況について

- (5) 病気の際の対応について
- (6) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について（未就学児のみ）
- (7) 放課後の過ごし方について（未就学児は今後の予定）
- (8) 育児休業等の職場の両立支援制度について（未就学児のみ）
- (9) 厚木市の子育て環境について

4 アンケート回収後

調査結果の集計、分析から、次期計画策定に必要となる現状の課題把握や各事業のニーズ推計を行い、計画策定の基礎資料となるニーズ調査報告書を作成する。

また、アンケート結果を今後の教育・保育・子育て支援事業の拡充に活用する。

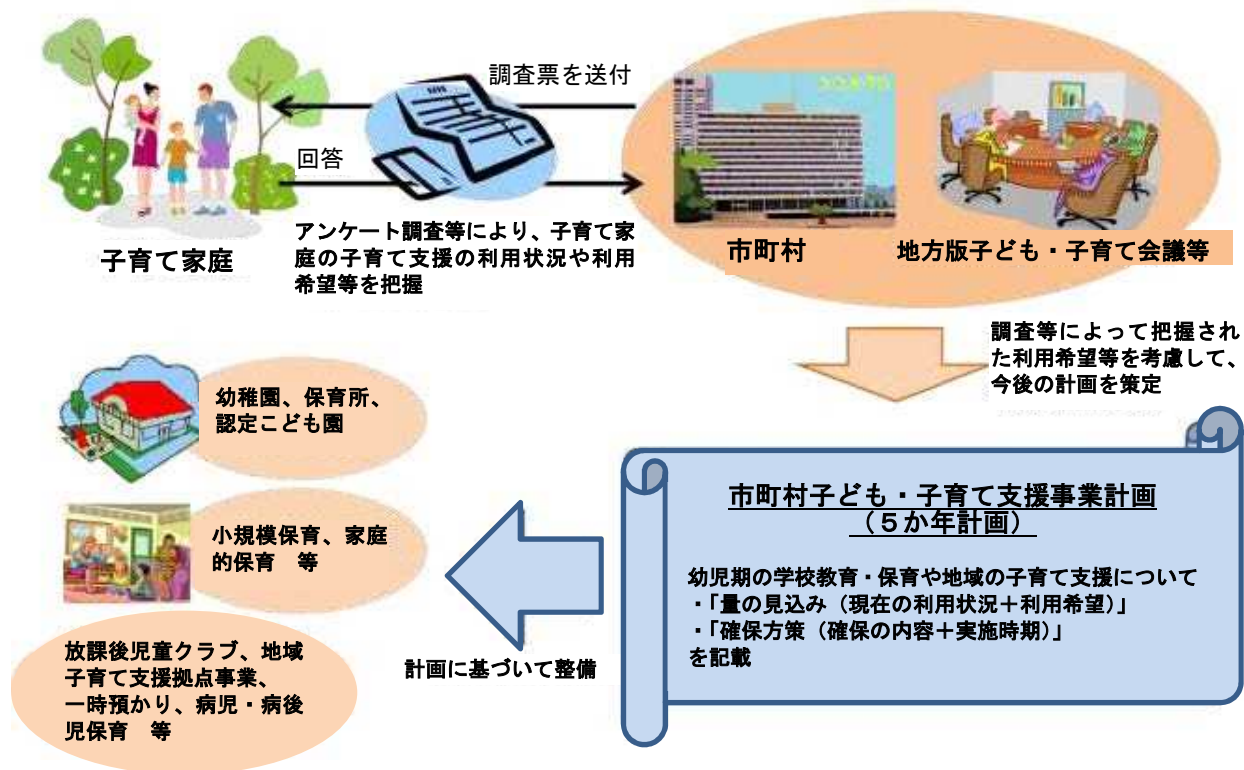
第2期市町村子ども・子育て支援事業計画作成に係るスケジュール(案)

2018.10.1作成

2018年度						2019年度	2020年度
10月	11月	12月	1月	2月	3月		
子ども育成推進 委員会意見聴取				子ども育成推進 委員会意見聴取		子ども育成推進 委員会意見聴取	子ども育成推進 委員会進捗管理
第2期計画作成のための子育て支援ニーズ調査を実施						第2期計画 作成開始	第2期計画 期間開始
						量の見込みを 算出し確保方策 とその実施時期 等を記載	2020年度 ～2024年度
調査業者決定	子育て支援ニー ズ調査準備	子育て支援ニー ズ調査調査票配 付、回収	ニーズ調査結果 取りまとめ	→		ニーズ調査結果 報告書完成	

回答するにあたってお読みください

あなたの回答が地域の子育て支援の充実につながります。



あなたがお住まいの市町村では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成27年度から実施）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

（用語の定義）

この調査で、「子どもの教育や保育サービス」とは、定期的に受けているもので、次のようなものをいいます。

用語	説明
保育所	国が定める基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた施設です。一般には「保育園」という名称を使っています。市内には公立4園、民間29園があります。
事業所内保育施設	企業の従業員や病院の看護師などの福利厚生のため、職場内や職場の近くに設置された事業所の従業員の子どものための保育施設です。市内には14施設あります。
認定保育施設	認可は受けていないものの、一定の基準を満たした施設として市町村長が認定し、区市町村協調で助成する施設です。市内に該当する施設はありません。
認可外保育施設	児童福祉法による認可を受けない保育施設の総称で、経営の形態はさまざまです。市内には10施設があります。
認定こども園	幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設で都道府県等の認定を受けた施設です。市内には4施設があります。
幼稚園	原則、満3歳から就学前までの幼児を対象とし、通常1日4時間の幼児教育を行っています。市内には、私立14園があります。
幼稚園の預かり保育	地域の実態や保護者の希望に応じて、上記の就園時間（1日4時間）の前後（早朝や午後の時間帯）に延長して幼児を預かるサービスです。

上記以外の用語の説明

一時預かり	保護者の病気やけが、家族の介護、冠婚葬祭、労働などの理由でお子さんを緊急・一時的に保育するサービス（緊急的保育）、保護者の就労、各種学校や職業訓練に通学しているなどの理由で週1～3日程度保育するサービス（非定型的保育）です。
病児・病後児保育	市内在住又は市内保育所等に通園しているお子さんが急な病気等で保育園に行けない場合で、保護者の就労等の都合により家庭で保育を行うことが困難なお子さんを医療機関等で預かるサービスです。
ファミリー・サポート・センター	子育て家庭を対象に育児の援助を受けたい方と、行いたい方が会員となり、お互いに子育てを支え助け合う活動です。
幼児教育・保育無償化	現在、国では2019年10月に幼児教育・保育の無償化を検討しています。実施内容は、3～5歳児及び住民税非課税世帯の0～2歳児について保育料を0円にするものです。



厚 木 市

第2期子ども・子育て支援事業
ニーズ調査

調査票のイメージ

○調査対象となる子どもの保護者が記入することを想定

○量の見込みの推計上必要な項目には「★」を記載

○市独自の項目には「」を記載

厚木市子ども・子育て支援に関するアンケート
(未就学児保護者)

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。★

- | | | | | |
|---------|--------|---------|--------|---------|
| 1. 厚木北 | 2. 厚木南 | 3. 依知北 | 4. 依知南 | 5. 睦合北 |
| 6. 睦合南 | 7. 睦合西 | 8. 荻野 | 9. 小鮎 | 10. 玉川 |
| 11. 南毛利 | 12. 相川 | 13. 緑ヶ丘 | 14. 愛甲 | 15. 森の里 |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。★)

平成 年 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 人
 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。★

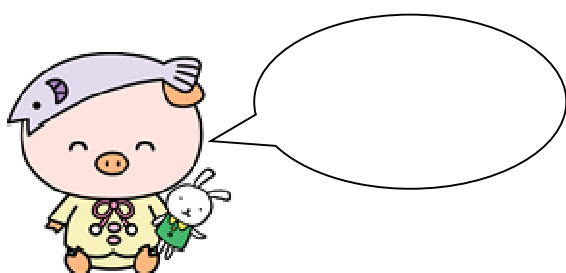
1. 母親	2. 父親	3. その他（ ）
-------	-------	--------------------------------

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号12に○をつけてください。★

1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。★

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母
5. その他（	）		



子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|-----------|---------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 |
| 6. 保育所 | 7. 認定こども園 | 8. その他（ | ） | |

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|-------|--------|--------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 | 5. 認定こども園 |
| 6. その他（ | ） | | | |

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒問10へ |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（ |

⇒ 問10 へ

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（ |

1. いる/ある ⇒ 問10-1 へ 2. いない/ない ⇒ 問11 へ

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO
5. 保健所・保健センター	6. 保育士
7. 幼稚園教諭	8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師	10. 自治体の子育て関連担当窓口
11. その他（【例】ベビーシッター	）

気になること 心配なこと	1 ない	2 ときどき ある	3 ある
①言葉の遅れ 例)「発音がはっきりしない」「語いが少ない」等	1	2	3
②運動面の遅れ 例)「歩き始めが遅い」「歩行が不安定」等	1	2	3
③性格 例)「怒りっぽい」「不安を感じやすい」等	1	2	3
④心理的な不安定、突発的なふるまい 例)「些細なことで泣く」「ある状況にとっても怖がる」 「パニックを起こす」等	1	2	3
⑤行動面 例)「落ち着きがない」「気になる癖がある」等	1	2	3
⑥友達関係 例)「友達とうまく遊べない」「友達をつくるのが苦手」等	1	2	3
⑦保育所、幼稚園等との関係 例)「保育士の指導」「環境面」「いじめ」等	1	2	3
⑧就園・就学 例)「就園に対する不安」「小学校就学に対する不安」等	1	2	3
⑨親子関係や育て方 例)「子どもに対する接し方が分からない」等	1	2	3
⑩その他()	1	2	3

(☎046-225-2922) や療育相談センター「まめの木」(046-225-2252) にご相談ください。

問11-1 子育て（教育を含む）をする上で、子育て支援センター等がありますが、その他に周囲からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。★

- | | |
|--|------------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | ⇒ (1) -1 へ |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | ⇒ (2) へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

（1）-1 （1）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

1週当たり 日 1日当たり 時間

（1）-2 （1）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず （例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。★

- | | |
|---|--|
| <div>1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない</div> <div>2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である</div> <div>3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない</div> <div>4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である</div> <div>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない</div> <div>6. これまで就労したことがない</div> | <div>⇒ (2) - 1 へ</div> <div>⇒ 問14へ</div> |
|---|--|

(2) -1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

1週当たり	日	1日当たり		時間
-------	------------------------	-------	----------------------	-------------------------

(2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 08時~18時のように、24時間制でお答えください(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

家を出る時刻		時	帰宅時刻		時
--------	----------------------	------------------------	------	----------------------	------------------------

問13 問12 の（１）または（２）で「3.4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。★

（１）母親

1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

（２）父親

1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問13-2 問13 の（１）または（２）で「3.パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」または「4.パート・アルバイト等やめて子育てや家事に専念したい」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14 へお進みください。



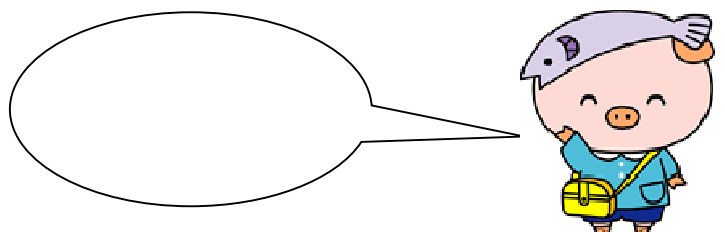
幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合、フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（１）母親

1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

（２）父親

1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい



問 14 問 12 の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。★

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア。」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア。」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

問 14-2 問 14 の(1)または(2)で「1.子育てや家事などに専念したい」または「2.1 年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。



幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合、就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア。」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア.」以外）

→1週当たり 日 1日当たり 時間

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでの「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1 に示した事業が含まれます。

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。★

1. 利用している ⇒問15-1 へ

2. 利用していない ⇒問15-5 へ

問15-1 問15-1～問15-4 は、問15 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。★
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園

2. 幼稚園の預かり保育
（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）

3. 認可保育所
（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）

4. 認定こども園
（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）

5. 小規模な保育施設
（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの）

6. 家庭的保育
（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）

7. 事業所内保育施設
（企業が主に従業員用に運営する施設）

8. 市町村の認証・認定保育施設
（認可保育所ではないが、市町村が認証・認定した施設）

9. その他の認可外の保育施設

10. 居宅訪問型保育
（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）

11. ファミリー・サポート・センター
（地域住民が子どもを預かる事業）

12. その他（ ）

問15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。★

(1) 現在

1週当たり		日	1日当たり			時間	(			時～			時)
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	----	---	----------------------	----------------------	----	----------------------	----------------------	----

(2) 希望

1週当たり		日	1日当たり			時間	(			時～			時)
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	----	---	----------------------	----------------------	----	----------------------	----------------------	----

問15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 居住している市区町村内	2. 他の市区町村
----------------	-----------

問15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため 2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している 3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である 4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している 5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある 6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である 7. その他（	)
---	---

問15-5 問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている 4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない 6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない 8. 子どもがまだ小さいため（	歳くらいになったら利用しようと考えている） 9. その他（
--	---

問15-6 問15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合、教育・保育の事業を利用しますか。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 利用する

2. 利用しない

問 15-7 問 15-6 で「1. 利用する」に○をつけた方にうかがいます。幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合、平日どのような教育・保育の事業を利用しますか。年間を通じて「定期的に」利用を希望する事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



1. 幼稚園

2. 幼稚園の預かり保育

(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)

3. 認可保育所

(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)

4. 認定こども園

(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)

5. 小規模な保育施設

(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの)

6. 家庭的保育

(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)

7. 事業所内保育施設

(企業が主に従業員用に運営する施設)

8. 市町村の認証・認定保育施設

(認可保育所ではないが、市町村が認証・認定した施設)

9. その他の認可外の保育施設

10. 居宅訪問型保育

(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)

11. ファミリー・サポート・センター
(地域住民が子どもを預かる事業)

12. その他 ()

問16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています（例：3歳未満平均月額保育料⇒3万円、3歳以上平均月額保育料⇒2万円）。★

1. 幼稚園	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 市町村の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、市町村が認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	12. その他 ()

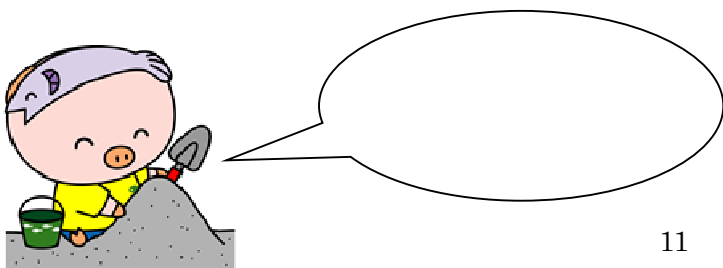
※幼稚園や保育所等の利用施設選びでお悩みの際は、保育コンシェルジュ（こども育成課 ☎046-225-2262・保育課 ☎046-225-2231）にご相談ください。

問16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 居住している市区町村内	2. 他の市区町村
----------------	-----------

問16-2 問16で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------



宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。

次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。★

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）

→1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名：）

→1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

3. 利用していない

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。★

1. 利用していないが、今後利用したい

→1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

→1週当たり 更に 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親（父親）学級、両親学級、 育児学級	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
②保健センターの情報・相談事業	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
④教育相談センター・教育相談室	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑥子育ての総合相談窓口	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑦自治体発行の子育て支援情報誌	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な
教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。★

(1) 土曜日

- | | | |
|-----------------|-----|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ | 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | |

(2) 日曜・祝日

- | | | |
|-----------------|-----|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ | 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | |

問20-1 問20の(1)もしくは(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. 月に数回仕事が入るため |) |
| 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため | |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため | |
| 4. リフレッシュ | |
| 5. その他（ | |

問21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。★

- | | | |
|---------------------|-----|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ | 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | | |

問21-1 問21で、「3.週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 週に数回仕事が入るため |) |
| 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため | |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため | |
| 4. リフレッシュ | |
| 5. その他（ | |

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。★

2. なかった ⇒ 問23 へ

一杵に一字)。★

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	日
イ. 母親が休んだ	日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	日
エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	日
カ. ベビーシッターを利用した	日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
ケ. その他 ()	日

※「キ. ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

⇒ 問22-2 ^

⇒ 問22-5 ^

病児・病後児保育施設があっ
て助かったBoo～



宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を
伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も□内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。★

利用している事業・日数(年間)	
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	□ □ 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	□ □ 日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	□ □ 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	□ □ 日
5. ベビーシッター	□ □ 日
6. その他()	□ □ 日
7. 利用していない	

⇒問24へ

問23で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない	8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. その他()	

問24 で「1.利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等） 2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等） 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業 （例：ファミリー・サポート・センター等） 4. その他（	）
---	---



⇒ア. 以外を選択した方は 問26へ

問25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

18

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問30へ

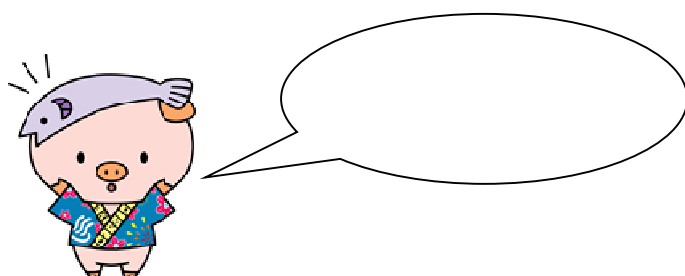
問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を**数字でご記入**ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に**数字でご記入**ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。★

※「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 児童館 ※1	週 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 日くらい →下校時から 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。



問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。★

※だいたいのことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 児童館 ※1	週 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 日くらい →下校時から 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

※ 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問28 問26 または問27 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 時から 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 時から 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号12に○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

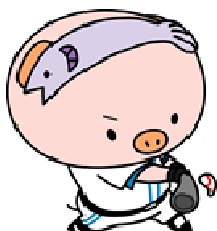
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない



利用したい時間帯

時から

時まで



皆さんの声を子育て事業
に反映させるBoo～

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

[illegible]

問30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問31 へ

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
- 2. 現在も育児休業中である
- 3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
- 2. 現在も育児休業中である
- 3. 育児休業中に離職した

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所・認定こども園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所・認定こども園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所・認定こども園に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
- 2. それ以外だった

(2) 父親

- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
- 2. それ以外だった

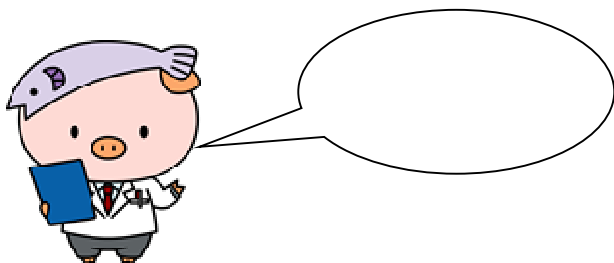
問30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

実際の取得期間	歳 ヶ月	希望	歳 ヶ月
---------	---	----	---

(2) 父親

実際の取得期間	歳 ヶ月	希望	歳 ヶ月
---------	---	----	---



問30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

	歳			ヶ月
----------------------	---	----------------------	----------------------	----

(2) 父親

	歳			ヶ月
----------------------	---	----------------------	----------------------	----

問30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|--|---|
| 1. 希望する保育所・認定こども園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ | ） |
|--|---|

②父親

- | | |
|--|---|
| 1. 希望する保育所・認定こども園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ | ） |
|--|---|

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|--|---|
| 1. 希望する保育所・認定こども園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（ | ） |
|--|---|

②父親

- | | |
|--|---|
| 1. 希望する保育所・認定こども園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（ | ） |
|--|---|

問30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問30-7 で「3.利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみってくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（)

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみってくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（)

問30-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

(2) 父親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

すべての方に、厚木市の子育て環境についてうかがいます。

問31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。



満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問31-1 厚木市の子育て支援事業で役に立った、満足度の高い事業は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。



- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 幼稚園、保育所の充実 | 2. 小規模保育、家庭的保育の充実 |
| 3. 病児・病後児保育 | 4. 幼稚園送迎ステーション |
| 5. 子ども医療費助成 | 6. 紙おむつ等の支給 |
| 7. 子育て支援センター「もみじの手」 | 8. 託児室わたくも（一時預かり） |
| 9. ファミリー・サポート・センター | 10. ほっとタイムサポーター |
| 11. 移動子育てサロン | 12. 児童館おひさまタイム |
| 13. 療育相談センター「まめの木」 | 14. 赤ちゃんの駅「ベビリア」 |
| 15. 子育てパスポートAYUCO | 16. 子育てガイド「おおきくなぁ〜れ」 |
| 17. その他（ | ） |

問32 以前（5年前程度）に比べ、厚木市の子育て環境は良くなったと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. とても良くなったと思う | 2. どちらかといえば、良くなったと思う |
| 3. あまり変わらない | 4. どちらかといえば、悪くなったと思う |
| 5. 最近転入してきてよくわからない | 6. わからない |

厚木市の子ども・子育て支援施策に関する項目 2～3項目追加予定

問33 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

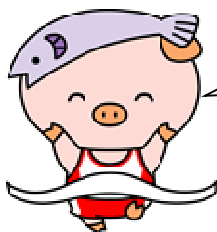
.....

.....

.....

.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。



ゴール！！お疲れ様でした。
ご協力、本当にありがとうございました！！

厚木市子ども・子育て支援に関するアンケート
(小学生保護者)

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。★

- | | | | | |
|---------|--------|---------|--------|---------|
| 1. 厚木北 | 2. 厚木南 | 3. 依知北 | 4. 依知南 | 5. 睦合北 |
| 6. 睦合南 | 7. 睦合西 | 8. 荻野 | 9. 小鮎 | 10. 玉川 |
| 11. 南毛利 | 12. 相川 | 13. 緑ヶ丘 | 14. 愛甲 | 15. 森の里 |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの学年をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）★

小学 年生

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。★

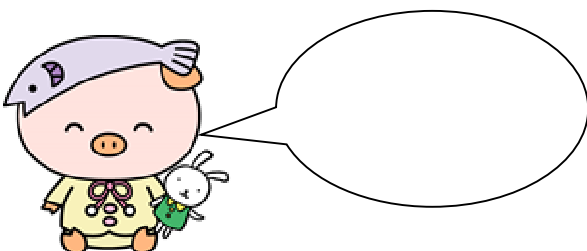
1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。★

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。★

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他（ ）



子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------------------|---|--------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } | ⇒問7-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } | ⇒問7-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | | |
| 5. いずれもない | | ⇒問8へ |

問7-1 問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |) |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6. その他（ | |

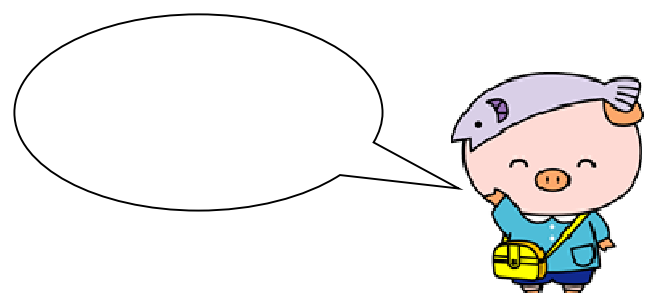
⇒ 問8 へ

問7-2 問7で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |) |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6. その他（ | |

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|----------|-----------|--------|
| 1. いる／ある | ⇒ 問8-1 へ | 2. いない／ない | ⇒ 問9 へ |
|----------|----------|-----------|--------|



問8-1 問8 で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO
5. 保健所・保健センター	6. 保育士
7. 小学校教諭	8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師	10. 自治体の子育て関連担当窓口
11. その他（【例】ベビーシッター	）

問9 宛名のお子さんの発達や育ちについて、現時点での気になることまたは心配なことはありますか。
 それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

気になること 心配なこと	1 ない	2 ときどき ある	3 ある
①言葉の遅れ 例）「発音がはっきりしない」「語いが少ない」等	1	2	3
②運動面の遅れ 例）「歩行が不安定」等	1	2	3
③性格 例）「怒りっぽい」「不安を感じやすい」等	1	2	3
④心理的な不安定、突発的なふるまい 例）「些細なことで泣く」「ある状況にとっても怖がる」「パニックを起こす」等	1	2	3
⑤行動面 例）「落ち着きがない」「気になる癖がある」等	1	2	3
⑥友達関係 例）「友達とうまく遊べない」「友達をつくるのが苦手」等	1	2	3
⑦小学校との関係 例）「先生の指導」「環境面」「いじめ」等	1	2	3
⑧学習面 例）「読む・書く・聞くのが苦手」等	1	2	3
⑨親子関係や育て方 例）「子どもに対する接し方が分からない」等	1	2	3
⑩その他（ ）	1	2	3

問9-1 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（１）母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。★

- | | |
|--|---|
| 1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない | } ⇒ (1) -1 へ

} ⇒ (2) へ |
|--|---|

（１）-1 （１）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 １週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

１週当たり 日 １日当たり 時間

（１）-2 （１）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

（２）父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。★

- | | |
|--|---|
| 1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない | } ⇒ (2) -1 へ

} ⇒ 問11 |
|--|---|

(2) -1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

1週当たり		日	1日当たり			時間
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	----

(2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

家を出る時刻			時	帰宅時刻			時
--------	----------------------	----------------------	---	------	----------------------	----------------------	---

問11 問10の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問12へお進みください。

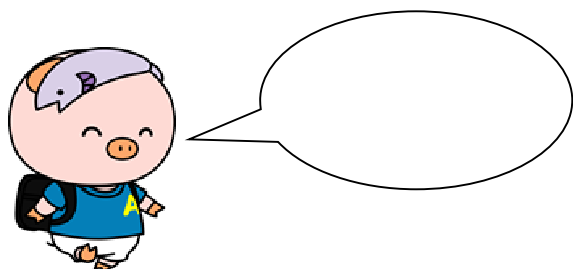
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。★

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい



問12 問10 の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。★

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア。」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

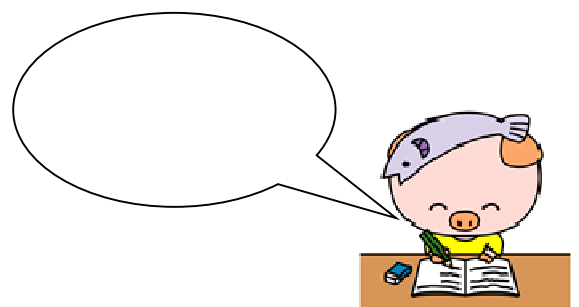
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア。」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間



宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問13 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで小学校を休んだことはありますか。

1. あった ⇒ 問13-1 へ

2. なかった ⇒ 問14 へ



問13-1 宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法として当
てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の
対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字）。★

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	□ □ 日
イ. 母親が休んだ	□ □ 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	□ □ 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た	□ □ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□ □ 日
カ. ベビーシッターを利用した	□ □ 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□ □ 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日
ケ. その他 ()	□ □ 日

※「キ. ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

⇒ 問13-2 へ

⇒ 問13-5 へ

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

※参考 厚木市における放課後児童対策事業の概要

事業名称	事業内容	利用料（月額）	時間
放課後児童クラブ （市運営）	保護者が就労などにより昼間 家庭にいない場合などに、指 導員の下、子どもの生活の場 を提供するもの。	4,000 円（18 時まで） 4,800 円（19 時まで） その他クラブ費 3,500 円 （おやつ代、教材費等）	平日：放課後～19 時 土曜日、夏休み等の長期 休業日等：7 時 30 分～ 19 時
民間児童クラブ （民間運営）		12,000 円～27,540 円 ※施設により相違	放課後～20 時 ※施設により相違
児 童 館	児童に健全な遊びを与え て、その健康を増進し、情 操を豊かにすることを目的 として設置している。	無料	13 時～17 時

問 14 宛名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。

当てはまる番号にすべてに○をつけ、それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。

また、5・6 を選んだ方は、利用している時間帯を口内に（例）18 時 のように 24 時間制でご記入く
ださい（数字は一枠に一字）。★

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、 サッカークラブなど）	週 日くらい
4. 児童館 ※1	週 日くらい
5. 放課後児童クラブ（市運営）	週 日くらい 下校から 時まで
6. 民間児童クラブ（民間運営）	週 日くらい 下校から 時まで
7. 放課後子ども教室 ※2	週 日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
9. その他（図書館・公園など）	週 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「5.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。厚木市では、相川、鳶尾、玉川小学校で実施しています。

問 15 今後、お子さんを放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

当てはまる番号にすべてに○をつけ、それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。

また、5・6を選んだ方は、利用したい時間帯を口内に（例）18時 のように 24 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。★

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）	週 日くらい
4. 児童館	週 日くらい
5. 放課後児童クラブ（市運営）	週 日くらい 下校から 時まで
6. 民間児童クラブ（民間運営）	週 日くらい 下校から 時まで
7. 放課後子ども教室	週 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
8. その他（図書館・公園など）	週 日くらい

問 16 問 14 または問 15 で「5. 放課後児童クラブ（市運営）」「6. 民間児童クラブ（民間運営）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、児童クラブの利用希望はありますか（利用には、一定の利用料がかかります）。

（1）、（2）、（3）それぞれについて、当てはまる番号に 1 つに○をつけてください。また、利用したい日数及び時間帯を口内に（例）09 時～18 時 のように 24 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）平日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい日数及び時間帯 週に 日（平日のみ） 下校から 時まで
2. 4年生まで利用したい	
3. 5年生まで利用したい	
4. 6年生まで利用したい	
5. 利用希望はない	

（2）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい日数及び時間帯 月に 日 時 から 時まで
2. 4年生まで利用したい	
3. 5年生まで利用したい	
4. 6年生まで利用したい	
5. 利用希望はない	

(3) 日曜日・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい日数及び時間帯 月に 日 時 から 時まで
2. 4年生まで利用したい	
3. 5年生まで利用したい	
4. 6年生まで利用したい	
5. 利用希望はない	

問 17 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休みなど長期の休業期間中の児童クラブ（市運営・民間運営）の利用希望はありますか（事業の利用には一定の料金がかかります）。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい日数及び時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい日数及び時間帯 週に 日（土日祝日含む） 時 から 時まで
2. 4年生まで利用したい	
3. 5年生まで利用したい	
4. 6年生まで利用したい	
5. 利用希望はない	

問 18 放課後児童クラブ（市運営） を利用している、または、利用したことがある方にうかがいます。放



課後児童クラブ（市運営）に対して要望したいことはありますか。当てはまる番号 すべてに ○をつけてください。

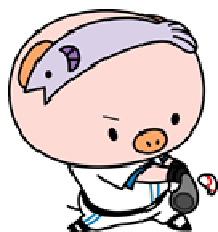
1. 利用時間を延長してほしい	2. 日曜日・祝日も開いてほしい
3. 施設設備を改善してほしい	4. スタッフ体制の充実
5. 現在のままで良い	6. 定員を増やしてほしい
7. その他（	）

問 19 放課後児童クラブ（市運営） を利用したことがない方にうかがいます。宛名のお子さんが放課後児



童クラブ（市運営）を利用していない理由を次の中から 1 つお選びください。

1. 特に必要ないから（お子さんの帰る時間には大人がいる 等）
2. 保護者またはお子さんが児童クラブを利用したくないから
3. 時間が間に合わないから
4. 児童クラブの存在を知らない
5. 児童クラブに入所できなかった
6. その他（
）



皆さんの声を子育て事業
に反映させるBoo～

すべての方に、厚木市の子育て環境についてうかがいます。

問20 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。



満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問20-1 厚木市の子育て支援事業で役に立った、満足度の高い事業は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。



1. 放課後児童クラブの充実	2. 放課後子ども教室の充実
3. 児童館の充実	4. 子ども科学館の充実
5. 幼稚園、保育所の充実	6. 小規模保育、家庭的保育の充実
7. 病児・病後児保育	8. 幼稚園送迎ステーション
9. 子ども医療費助成	10. 紙おむつ等の支給
11. 子育て支援センター「もみじの手」	12. 託児室わたぐも（一時預かり）
13. ファミリー・サポート・センター	14. ほっとタイムサポーター
15. 移動子育てサロン	16. 児童館おひさまタイム
17. 療育相談センター「まめの木」	18. 赤ちゃんの駅「ベビリア」
19. 子育てパスポートAYUCO	20. 子育てガイド「おおきくなぁ〜れ」
21. その他（	）

問21 以前（5年前程度）に比べ、厚木市の子育て環境は良くなったと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



1. とても良くなったと思う	2. どちらかといえば、良くなったと思う
3. あまり変わらない	4. どちらかといえば、悪くなったと思う
5. 最近転入してきてよくわからない	6. わからない

問22 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ゴール!!!お疲れ様でした。
ご協力、本当にありがとうございました!!

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

